



メディアセンターだより 2月号

令和5年2月
柏市立高柳中学校
柏市学校図書館指導員

「立春」は二十四節気において春の始まりとされる日です。春という言葉がつきますが、まだまだ冷たい風が吹き、関東でも雪が降る日がありますね。寒さの中で木々の芽は準備万端です。今年度も残りあと2ヶ月を切りました。1日1日を大切に、体調に気をつけて新しい春に向かってもう一息がんばりましょう。学校図書館はみなさんの心が温まる本を準備してお待ちしています。

知っているようで知らない節分

節分とは季節の変わり目を指すため、年に4回あります。現在では2月3日頃の立春の前日というイメージが強くなりましたが、立夏、立秋、立冬の前の日も節分といえます。

【出典】「日本人の美しい和のふるまい」藤野紘著 河出書房新社



□■芥川賞・直木賞□■□

～1月・7月は芥川賞・直木賞の発表月です～

芥川賞は雑誌（同人雑誌を含む）に発表された新進作家による純文学の中・短編から選出され、直木賞は新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）から選出される賞です。（1/19日発表）

【出典】公益財団法人 日本文学振興会 <https://www.bunshun.co.jp/shinkoukai/>

168回芥川賞

「この世の喜びよ」井戸川射子著
「荒地の家族」佐藤厚志著

168回直木賞

「地図と拳」小川哲著
「しろがねの葉」千早茜著



今月のおすすめ本 ～テーマは「芥川賞・直木賞作品」～

『コンビニ人間』

村田沙耶香 著 文藝春秋〈NDC913〉

36歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは18年目。これまで彼女なし。日々食べるのはコンビニ食、夢の中でもコンビニのレジを打ち、清潔なコンビニの風景と「いらっしゃいませ！」の掛け声が、毎日の安らかな眠りをもたらしてくれる。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。第155回芥川賞受賞作。

『容疑者Xの献身』

東野圭吾 著 文藝春秋〈NDC913〉

天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘と暮らす隣人の靖子に秘かな想いを寄せていた。彼女たちが前夫を殺害したことを知った彼は、二人を救うため完全犯罪を企てる。だが皮肉にも、石神のかつての親友である物理学者の湯川学が、その謎に挑むことになる。ガリレオシリーズ初の長篇、第134回直木賞受賞作。

※「情報BOXライブラリーサーチ」の紹介文を引用しています。



メディアセンターからのお知らせ

今、メディアセンターでは

『かがみの孤城』関連本

を展示しています。
お気に入りの1冊を見つけに来てください。

★3年生の皆さんへ

最終貸出は 2月24日（金）

最終返却は 3月3日（金）です。